

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		準決勝															
日時	平成30年8月5日 (日)		10:20 ~														
会場	帯広市総合体育館																
結果	●		○														
	帯広南町 十勝	<table border="0"> <tr><td>6</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>24</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	6	—	4	16	—	24	12	—	17	12	—	12		OT	
6	—	4															
16	—	24															
12	—	17															
12	—	12															
	OT																
審判	主審 阿部 聖	副審 山室 洋平	大川 潤														

第48回北海道中学校バスケットボール大会



【ボックススコア】

帯広南町		十勝						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	中橋 悠貴	×	1	0	0	1	0	1
5	西田 颯来	/	4	0	2	0	0	0
6	鈴木 翔	×	20	4	4	0	0	0
7	岡島 康晟	DNP						
8	岩岡 里恩	DNP						
9	加藤 理偉	DNP						
10	西田 晟来	DNP						
11	久朗津 広野	×	10	0	4	2	0	3
12	小林 潤生	×	2	0	1	0	0	2
13	米山 響	DNP						
14	山田 哲汰	×	9	1	3	0	0	3
15	毛利 樹	DNP						
16	山崎 翔輝	DNP						
17	馬淵 公志	DNP						
18	大野 創生	DNP						
HC	久朗津 敏晃							
合計			46	5	14	3	0	9

旭川愛宕		上川						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	萩生田 侑杜	×	13	1	5	0	0	3
5	松山 真之助	×	11	1	4	0	0	0
6	鹿原 拓夢	×	16	0	8	0	0	3
7	白田 翔悟	×	14	2	4	0	0	3
8	水野 神羽	DNP						
9	坂本 瑞樹	×	3	1	0	0	0	1
10	森山 亮	DNP						
11	森田 耕陽	DNP						
12	小玉 風歌	DNP						
13	多田 款	/	0	0	0	0	0	0
14	高 麗和	DNP						
15	山下 竜輝	DNP						
16	上西 陸斗	DNP						
17	平野 煌己	DNP						
18	榎本 麗琉	DNP						
HC	堀口 創平							
合計			57	5	21	0	0	10

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

十勝代表帯広市立南町中学校、上川代表旭川市立愛宕中学校の全国大会出場をかけた準決勝。帯広南町#4#6#11#12#14、旭川愛宕#4#5#6#7#9でゲームがスタート。お互いハーフコートマンツーマンでスタート。南町は#11#12のドライブからフリースローを獲得するが2本とも入らず。愛宕#6もシュートを狙うが入らない。お互いにシュートが入らない時間が続くが、南町が#6のドライブシュートで先制。すぐさま愛宕#5のドライブシュートで入れ返す。南町は2対2で攻撃チャンスを作る。対する愛宕もアウトサイドから積極的にシュートを狙うが入らない。その後、南町#12#11、愛宕#4のシュートを決め6-4で1Qが終了。

2Q  
 愛宕#7の先制からスタート。愛宕が南町の2対2をうまく守りだし、DFでリズムをつ掴みだした。2対2からオープンシュート、スティールからの速攻で得点を重ね10-18。3:45で南町がたまたまタイムアウト。南町は#11を起点にリズムを取り戻す。愛宕がインサイドヘルプで対応し、DFで粘りを見せる。南町#14の得点で食らいつくが、愛宕が得点を積み重ねる。南町#6がブザービーターを決め22-28で2Qが終了。

3Q  
 愛宕#6のスティールから#5の3Pでゲームがスタート。南町も#6のドライブで入れ返す。南町は#11を起点に攻撃チャンスを狙うが上手くいかない。対する愛宕はDFリバウンドから得点を重ね、5:23で26-38。南町がタイムアウト。タイムアウト終了後、南町は#5が得点を重ねるが、愛宕の#6、9にリバウンドを粘られ、#7の3P、#6のシュートで引き離す。その後も愛宕#4のドライブシュート、#6のフリースローで得点を重ねる。南町も#6が3Pを決めて追いつく。34-43で3Qが終了。

4Q  
 南町はオールコートマンツーマンプレッスで巻き返しをはかる。愛宕は落ち着いてボールを運び#7の3Pが決まるが、南町も怒涛の追い上げを見せ、#11のドライブ、#6#14の3Pなどで4連続得点。44-48で愛宕がタイムアウト。タイムアウト後#11がセットプレーからゴールで2点差。2分間お互いに無得点が続くが、愛宕#9の3P、#7のバスケットカウントで再び引き離す。その後、南町は3Pで追いつこうとするが入らず。対する愛宕は#6#7が得点し46-57で試合終了。愛宕は2Q以降リードを許さず、全国大会への切符を手にした。